

平成 21 年 3 月 24 日 ( 火 ) 岐阜経済記者クラブ配付資料		
担当部署	担当者	電話
( 財 )岐阜県産業経済振興センター	大口	058-277-1085

## 東海北陸自動車道全通による観光産業への影響

### - 県内の宿泊・観光施設に対するアンケート調査 -

(財)岐阜県産業経済振興センターでは、昨年 8 月に公表した「岐阜県内企業における東海北陸自動車道に関するアンケート調査」に引き続き、岐阜大学地域科学部の三井栄(みつい・さかえ)准教授と共同で、「東海北陸自動車道の全通による観光交流産業への影響に関するアンケート調査」を実施し、その結果をとりまとめました。

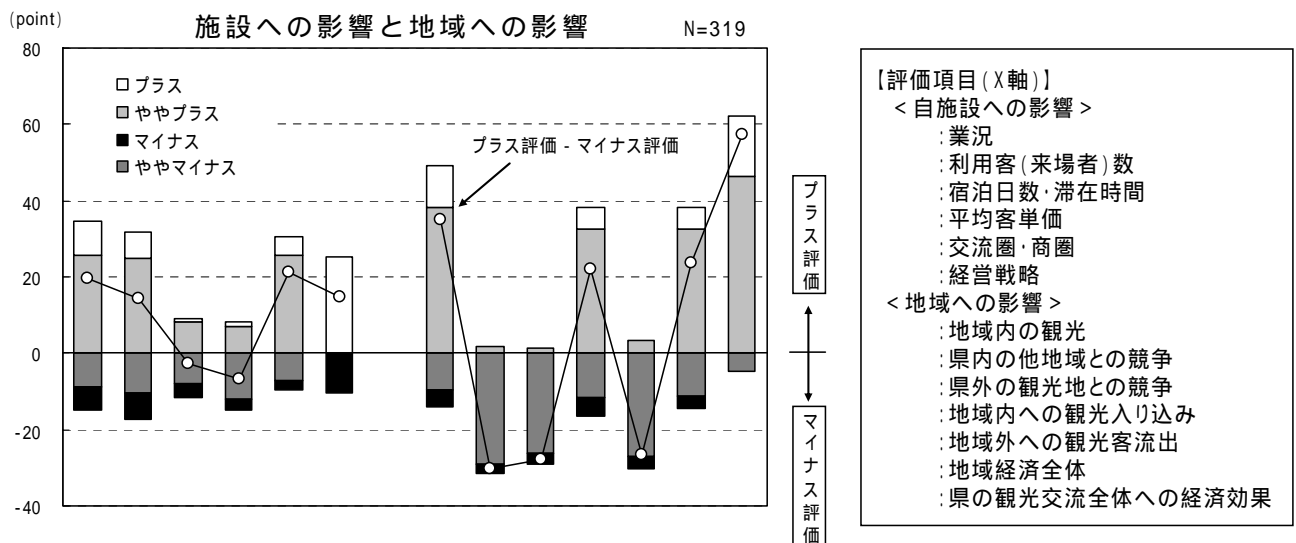
### 調査結果のポイント

- ・ 東海北陸自動車道の全通は、業況や地域の観光・経済にとってプラス評価が高く、特に岐阜県の観光交流全体への経済効果については、6 割以上がプラスと評価
- ・ 全通による観光交流圏の拡大で、競争激化への懸念と入り込み客増加への期待の両面があらわれるなど、全通が観光産業に与える影響の大きいことがうかがわれる
- ・ 結節点にあたる中濃でプラス効果が高い一方、下呂と飛騨は全通による影響が大きいもののマイナス評価も目立ち、競争の激化がうかがわれる

### ( 1 ) 業況や地域の観光交流に対してプラス評価が大きく上回る

自施設への影響では、業況、利用客数、交流圏・商圈、経営戦略でプラス評価がマイナス評価を大きく上回った。ただし、宿泊日数・滞在時間や平均客単価への影響は相対的に小さいもののマイナス評価が若干上回った。

地域への影響では、他地域との競争激化や観光客の流出といった面でマイナス懸念が強い反面、地域内への観光入り込みも期待されており、地域内の観光や経済さらには岐阜県の観光交流全体への経済効果はプラス評価が大幅に上回った。



## (2) 地域・種別ごとの評価

地域別に見ると、全通によって下呂で約 80%、次いで中濃では約 70%、飛騨で半数以上の施設が業況について何らかの影響を受けるが、西濃は比較的影響が小さく 70%以上が影響なしとしている。

影響の中身を見ると、東海北陸と東海環状両自動車道の結節点である中濃ではプラス評価が多く、60%以上がプラス評価。一方、下呂と飛騨ではマイナス評価も目立ち競争の激化がうかがわれるとともに、特に下呂ではプラス・マイナス評価がともに 40%前後と施設によって明暗を分けている模様。

種別ごとの比較では、「スポーツ・レクリエーション」「イベント」で半数以上、「産業観光」「旅館・ホテル」で 40%以上が業況への影響をプラス評価しており、これらの施設では 35～45%で利用客数が増加、交流圏・商圈も拡大との回答が多い。

「旅館・ホテル」では約 40%が競争の激化や観光客の流出を指摘している一方、半数で入り込み客が増加しており、プラス・マイナス両面の影響があらわれている。

業況への影響					何らかの影響あり	プラス超過の割合
	標本数	プラス評価 (A) % 順位	変わらず % 順位	マイナス評価 (B) % 順位	(A) + (B) % 順位	(A) - (B) % 順位
全数	227	37.9	46.7	15.4	53.3	22.5
岐阜	31	41.9 2	51.6 3	6.5 5	48.4 4	35.5 2
西濃	37	21.6 6	73.0 1	5.4 6	27.0 6	16.2 4
中濃	53	62.3 1	28.3 5	9.4 4	71.7 2	52.8 1
東濃	43	32.6 4	53.5 2	14.0 3	46.5 5	18.6 3
飛騨	44	25.0 5	47.7 4	27.3 2	52.3 3	-2.3 5
下呂	19	36.8 3	21.1 6	42.1 1	78.9 1	-5.3 6
自然	19	36.8 6	47.4 4	15.8 4	52.6 6	21.1 6
文化・歴史	23	34.8 7	52.2 3	13.0 6	47.8 7	21.7 5
産業観光	14	42.9 3	28.6 9	28.6 2	71.4 1	14.3 7
スポーツ・レク	24	54.2 2	33.3 8	12.5 7	66.7 2	41.7 2
温泉	31	19.4 9	64.5 1	16.1 3	35.5 9	3.2 8
買い物	24	20.8 8	41.7 7	37.5 1	58.3 3	-16.7 9
行事・祭事	8	37.5 5	62.5 2	0.0 8	37.5 8	37.5 3
イベント	24	54.2 1	45.8 5	0.0 8	54.2 5	54.2 1
旅館・ホテル	60	41.7 4	45.0 6	13.3 5	55.0 4	28.3 4

### 担当者コメント

東海北陸自動車道の全通は、県内の宿泊施設・観光施設にとって全般的にプラスの影響が大きいようです。地域差や種別などによっても異なりますが、全通により利便性が向上し、移動時間も短縮するため、利用客の増加や交流圏・商圈の拡大傾向がみられています。一方で、昨年から経済情勢が急激に悪化したあおりもあり、来客数(来場客数)や売上高の見通しは厳しいようです。ただ、全通による地域内の観光への影響、さらに県の観光交流産業全体への経済効果への評価はかなり高いです。(三井)

**調査概要** 調査対象：県内の主な宿泊施設と観光施設 521 カ所(回収数：319 カ所)  
方 法：郵送によるアンケート調査(平成 20 年 12 月実施)

報告書の全文は、当センターのホームページに掲載します。

[http://www.gpc-gifu.or.jp/chousa/res\\_report.asp](http://www.gpc-gifu.or.jp/chousa/res_report.asp)

### 【本件に関するお問い合わせ先】

岐阜大学 地域科学部 三井 栄

TEL 058-293-3303

(財)岐阜県産業経済振興センター 大口

TEL 058-277-1085